

## 講演会・全体会午前の部

**司会者** ただ今より、講演会ならびに全体会午前の部を行いたいと思います。午前の部の司会を担当させていただきます藍住中学校2年のi, 藍住中学校2年のjです。よろしくお願いします。それでは、早速講演会に移りたいと思います。パネリストはミナさん、ミヤビさんコーディネーターは吉成正士さんです。ミヤビさんは少々遅れています。着き次第登壇してもらいます。それではどうぞ、よろしくお願いします!



**吉成** こんにちは。私は応神中学校で教員をしております吉成といたします。今日は昨年に引き続き、こういった形で、パネリストを招いてお話してもらいます。あとで自己紹介をしてもらいますが、このあとミナさんからもお話をさせて頂いて、そのあと遅れて登場すると思うんですが、ミヤビさんからまたお話を頂きます。昨日、リハーサルを行いました。この会場で行って、会場の半分くらいかな、席が半分くらい埋まっていたと思うんですが、リハーサル、そして交流会… あっ登場しました。みなさん拍手でお迎えください。

**ミヤビ** ちょっと気まずいんですけど… すいません。ごめんなさい。

**吉成** いつものことやからな。それ寝間着かな?大丈夫?はい。ミヤビさんです。昨年まで高校生だって、この春卒業して高校の時に世

話をしたというか、お世話になったというか、その先生もどこかにおると思うんですが…あーおったおった。はい、高校の先生も来ておりますので。



**ミヤビ** えっ!

**吉成** はい、高校の先生からもね、コメントがあるといいかなアと思ったりしています。とにかく昨日ね、ここで、交流会とリハーサルをしたんですよ。初めて会った仲間が非常にたくさんいたんだけど、すごく仲のいい交流会を過ごすことができたというふうに思っています。まるで、昨日会ったんだけど、昨日初めて会ったように思えないような関係が、いろんなところでできていたと思います。その後、夕食会もとったんですけども、夕食会場でも、「本当に今初めてあったのかな」と思うような出会いが目の前で繰り広げられていました。そんな関係を今日も一日、みんなで作っていききたいなと思っています。それじゃ座って失礼します。まず、ミナさんからお話を20分ほど頂いて、その後、ミヤビさんからお話を20分頂いて。

**ミヤビ** 20分!

**吉成** 15分? 15分ね。お話をさせて頂いて、それを聞いた内容について、私の方でやりとりをしますから、そんなのをみなさん見よってください。最後の30分くらいかな、前の時計で、30分、40分くらいフロアの方から感想を聞かせてもらったりとか、また意見とか、自分の思いを重ねるように発言していってもらおう

と思っていますので、中学生のみなさん、楽しいだけじゃない。非常にためになるというか、勉強になるお話をしてくれますので、よく聞いておいてもらえたらと思いますので、よろしくお願いします。それじゃミナさん！自己紹介をお願いします。

**ミナ** おはようございます。板野中学校を卒業しました。ミナと申します。今年、大学を卒業しまして、今は地元の母校の板野の小学校で臨時教員として働いています。今日はそんな、ここに立つような者でもないんですが、自分の経験をそのまま、リアルに語れたらと思います。座って失礼します。



**吉成** それではミヤビさん、簡単に自己紹介だけしとってもうて、その後、ミナさんに話してもらいます。はい！

**ミヤビ** 上からすいません。おはようございます。何年前？3年前ぐらいに大麻中学校を卒業して、で中学生集会も中学1年から活動しよんやけど、してる、えっなんか、ちょうど、なんか、あつすいません。とりあえず、一応社会人になりました。ミヤビです。よろしくお願いします。一応、OBやね？

**吉成** OB？OGかな

**ミヤビ** OGらしいので、はい（笑）

**吉成** はい、お願いします（拍手）それではマイクをもとに戻しまして、ミナさんお話を聞かせていただけますか。



**ミナ** 私は、お母さんの方が地区出身、地区であって、自分のお母さんとお父さんが結婚するときに部落差別というか、あったんですね。お父さんの方から、部落差別があったんですけども、結婚できて、私が生まれてという感じなんですけど。私が5歳のときに、おばあちゃん家になるんですけど、お父さんの、お父さん側の家ね。お父さんの方のおばあちゃん？難しいんやけど、遊びに行ったときに、従姉妹になるひとつ上のお姉ちゃんがおったんですよね。私は長女だったからお姉ちゃんって、ほしい存在で、年上の姉ちゃんであってほしいなという、ただホンマに普通に無邪気に遊んでほしいなと思って、そのおばあちゃん家に行ったときに、二世帯住宅なんやけども、ドアがあって、もうはつきりとその場面もメッチャ覚えているのですが、ドア越しに「コンコン、なんとかちゃんあそぼ」って、5歳のときですよ、言ったんですね。そしたら、ドアをあけてくれなかったんやけども、聞こえてきたんが、伯母になる人、従姉妹のお母さんが「遊べんて言いな、遊んだらあかんのよ」「はよ言いな」というのが聞こえて、5歳のときやから、なんで遊んだらいかんのかというのがわからなかった。「まーしゃーない、遊んでくれんのか、もーお母さん遊んでくれなかった」って言うて、「もうしゃーないなア」で終わっていったんやけども。それが終わって、あとあと実際に考えたら部落差別だったんかなって思いました。

私が小学校6年生のときに学習会に行ってい

て、立場学習っていうんで、自分が差別を受けるかもしれないという側であるっていうことを初めて知りました。その時は、受けるかもしれ



ん側じょって言われたときに、「ん～～?」「ん～～!」っていうか、あんま良く解らんかったんですね。小6のときやし、「いやー差別受けるって言われても、受けるかもしれんと言われてもな」って思いよって。私の友達とか、学習会に通ってた友達とかの中でも、ひとり通わん子とかがおって。別に自分が部落出身じゃって、学習会に行かな、学習会に通わなあかん、全員強制ではないんじゃないけど、ひとりだけ行かん子がおったんよね。その子は、お母さんから、「ほんなんわざわざ学習会にいかんでええ」って、自分の部落出身じゃっていうんをその子は隠すというか、なんだろ、んー、隠してたんよね。でも、私は別に隠す必要もないと思うし、知れて良かったなあって思います。6年生のときに知れて良かったなあって。6年の立場学習のときに、私は、お母さんともよく部落差別のこととかについて、お母さんやから「何じゃ恥じることでないんじゃないわ」って「落ち込むこともないし、ばあちゃんもじいちゃんもおるけんいけるよ」って言って、安心するように言ってもらいました。学習会に行きよったけん、10人くらい? 8人? 10人くらいは一緒に行きよった友達もおって、その時にも、学習会の先生と話すこともあったし、もちろん友達ともギャーギャーいうて遊んびよったりもしたんやけど、段々リアルな体験とか友達が結婚、実際に学習会に行きよった友達が、もうほんま何人か結婚したりとか、ほのお兄ちゃんとかお姉

ちゃんが結婚したりとかして、実際あったんよね。結婚するときに。全部調べられたとか、そういう話を聞いて、「うわー、きたわ」と思って「これか、これなんじゃ」と思って。けどなんか、ほんときに友達と「ちょっと、これどう思う」って「ちょっと、腹立てへんで」「こんなことあったんよ」ってしゃべれるんよな。私は。ほうやって何人も聞いてもらえる仲間もおるし、先生もおるし、親もおるし、じいーもばあーもおるけん、救われました。ほんときは、もちろん腹は立つし「何だよ!」って思うけど、ほれを、言うことを聞いてもらえる相手がおることによって、私はホンマに今も救われているなって思っています。

もちろん小6やし、小6とか中学校のときって、仲間って言われても「仲間って?」ってちょっと言われても、「あはは・・・」っていう感じで「なんだろな?」みたいな感じで思ってたんですね。けど、今になってその大切さっていうか「おってよかったな」「学習会行きよってよかったな」ってケンカもようするし、わけのわからん話もようしたけど、今となってはホンマに話せる相手で、メッチャいい存在です。やっぱり学習会で、学習会とか、こういう中学生集会とかで、人権をみんなと一緒に考えたり、話をしてきたけん、何かがあっても自分のことのように聞いてくれるし、私も友達がほーいう話を聞いても「あ〜、私だったらどうするかな」って考えながら相談をしあったり、愚痴ではないけど愚痴を言い合ったりしています。そんな仲間がおります。みんなも今こやって、県外の方たちとも交流があるので、すごい良いなって、昨日から見ていて私も思っています。

中学校のときは、板野中学校で、板野中学校は東小、西小、南小といって小学校が3校くつつくんですが、道徳とか人権の時間、人権の勉強の時間に、新しいにできた友達もおったし、小学校のときは、よう発表もしよったんやけど中学校に入ってから、私は発表するどころか「し

んだいなあ」って人権の時間や道徳の時間が苦痛でした。「はよ終わってくれんかなあ」ってずっと机見よって、ホンマにしんたい授業やったけど、2年生のとき、中学2年のときの担任の先生がホンマに押ししてくれて。そのときちょっと中2のとき、生活面とかでもちょっとグレとうとかではないんやけど、ちょっとしんどいときがあって、中2の担任だった先生に、「あなたが言わなんたら。思とることを言わなんたら。あなたが引っ張っていきな」って背中を押されて、「え〜、ほんなん言われても、みんな黙っておるし、誰っっちゃ手挙げへんし、発表やできん！！」と思ひよって、私よく「ムリーー」って言うんですけども「ムリーー」って言よって、けどその担任の先生の押しの方が強くて、「もう、わかりました」って、もう、手挙げるまで、発表するまで、ごっつい緊張して、「もう、嫌じゃー」って思ったんやけど、手を挙げたんですよね。授業で何を言うたかははっきり覚えてないけど、発表して、勇気を出して発表したら、発表した後って、多分、みんな発表した後わかると思うんですけど、すごいすっきりするんですよね。すっきりっていうことが一番よく合っていると思うんやけども、自分の意見を言うんは、ごっつい恥ずかしいし緊張するけど、なんちゃ恥ずかしいないんよね。実際、自分がそんなに気にしよるほど、みんなもそんなに気にしてないというか、あれやし、みんな耳傾けてくれとうし、私はもう発表して良かったなあと、自分の気持ちをこやって、発表するんてごっつい気持ちええことやなと思ったんですよね。道徳や人権の学習の時間もクラスの友達とかに、その気持ちを味わってほしいなあと、友達に「ちょー、言うてみ。言うたらごっつい気持ちええんでよ」って「一緒に発表しよ」って発表をさそい合って、みんなも段々緊張するけど発表してくれるようになって、もちろん発表したら、ほやってすっきりした気持ちがわかるけん「うわ、ホンマやな」ってなったときに、やっぱり初めて、ほこで、道徳とか

人権の授業っておもっしょいんやなって思いました。ただ座って終わるんまったりとか、誰かが言ってくれるだろうって、下ばっかり向っきよった自分にもったいない時間過ごっしょったなって、どうしても人前でしゃべるんが苦手やなという人もおるんやけど、けど、考えたり一生懸命聞いたりすることで、やっぱり無駄な時間ではないなあって思ひます。



小6のときにまた話は戻るんやけども、学習会行っていた子がおって、その子がケンカをしよって、普通にボケじゃアホじゃ、ほういう言葉が飛び交いよう中で、「お前や部落の人間でないか」「部落のくせに」って言ったんですよ。地区外の子がね。私の仲間のひとりに。私の友達が返した言葉は、「お前な！今言うた言葉は、俺だけじゃなくって、学習会に行きよるみんなに言うた言葉といっしょぞ！！」って返しました。なんか今さら当時こういうことがあったんよって、先生に聞いたときは、「あー、〇〇くんがそうやって返したんじゃ」って思っとなけど、よく考えれば、その子が返した言葉はホンマにそのまま合ってる言葉で、その返してくれた、その『みんなに言うた言葉ぞ』って返してくれた男の子に私、救われたな、よう返してくれたなって思ひました。それが6年のときの体験みたいな感じかな。

そう過ごして来て去年、昨年の夏なんですけども、父方の方のばあちゃんが亡くなったんです。小6のときに父と母は離婚したんやけども、お父さんとは連絡とってって感じで新聞のお悔やみ欄を見てみると、ばあちゃんの名前があって、「あっ、亡くなったんや」って、私は、三

姉妹なので、一番上なんですけども、今、妹とも人権について家族でよう話をするんやけどね。妹もほういう思いをもっとって、よく話を



します。妹に「ばあちゃん死んだっていいですよ。どないするで？」って言うたんです。私もほうやけど、やっぱり血はつながっとうし、どんなん言うたってばあちゃんやし優しいにしてくれた思い出もあるけん手を合わせにいきたいなって、三人で話して言よって、お母さんに相談したんです。「母さん、ばあちゃんに手を合わせに行きたいんやけど行ってもええ？」って。そしたら母さんは、「もしかしたら、あのときみたいにつらい思いとか、腹の立つこと言われるかもしれんよ」って「今は、離婚して関係ないけん、もう家にすら上げてくれんかもしれん。入れてくれんかもしれんて、それでもいい？それでもかんまんて？」って言うたんですね。お母さんはずっと女手一つで育ててくれよったので、私や三人姉妹が多分傷つくかもしれんという心配してくれて、言ってくれたんです。けど、どんなことがあっても、何を言われても、五歳のときのドアの前のことじゃないけど、その時よりかは何かしら勉強してきたつもりやし、経験もしとるし、三人の姉妹で行くし、いけるんちゃうかなと思うて、「いや、やっぱり行くわ！」っていうことにしました。ドキドキしながらも約10年ぶり、11、12年ぶりぐらいにばあちゃん家に行って、ホンマに緊張したんですけど、ピンポン押して、もちろん向こうの伯父や伯母もびっくりしてました。けど、「おばあちゃんが亡くなったけん、手を合わせして下さい」と言いました。ほしたら、家には入れ

てくれて、手も合わさしてくれて、まあ良かった、ほれはホンマに良かったなど、お線香も上げさしてもらって良かったなアって思ったんですけども。伯父とお茶を飲みながらばあちゃんの入院中の話とかしてくれて、あ〜ほうじゃったんじゃって、もうちょっと早う行っといたら良かったなあとか、もうちょっと早う行って会ったら良かったなあか思いながら、後悔しよって。でも最後に言われた言葉が、もう帰ろかってなったときに言われた言葉が、「お参りがしたくても、もうこの家でなくて、お墓を教えるけん、直接そっちに行ってくれ」と…。「もう、この家には来てくれるな」という遠回しであるんやけど、まあそういう言い方をされました。最後に、ほんとき言われたときは、別にほんな折れることもなく「はっは一ん、また言よるわ！！」と思て、腹も立ったんやけども私は、「わかりました。もう来ることはないと思います」って言うて、もう帰りました。多分、伯父も仕事柄では、仕事柄っていかどの立場でも許せんけども、そういう発言は許せん立場におるので、ゆるんだような、オブラートに包んだような、優しいっていう言い方もおかしいけど、そういう言い方をしました。全然ほんな包んどうつもりかもしれんけど、こっちからしたらもうダイレクトに「来るな！」って言われよんやなというのが分かりました。姉妹で高1と19の妹がおるけど、3人で帰りながら「まあでも、手合わせて、手合わせれたけん、よかったんちゃうん」「ばあちゃんに伝わったんちゃうん」といいながら帰って、「ほなけど、あの最後の言葉はないよな！」って愚痴みたいになるけど、それを言いながら3人で帰って、家に帰ってもお母さんやに「まあこうこうこうだったわ」って聞いてもらえたので、そこでもすごい救われました。多分ひとりだったら、もうひとりで心の中に溜めとうままだったら、しんどいんですけど、しんどいと思うんやけども、3人で話したり、家族に話を聞いてもらったりしてもらっただけで、すごい本当に救われました。ばあちゃ

んが亡くなったことでさえ、新聞でたまたま発見したんですけども、連絡の一つも、もちろんないですよ。それが私のお父さん、つまりばあちゃんやけん、お父さんのお母さんになるんですよ。その実の息子である父にさえ私たちと関わったからといって、連絡がなくて、お父さんは多分まだ手も合わせれてないし、お葬式にも行けてないんですよ。実の母でありながら…。ほんま、なさけないなと思います。ほんまここで言うのも「母さん、明日こんな話するんやけど、かんまんかえ？」って言うたら、「なさけない話やけど、ホンマにあった話やけん、しゃあないわな」って言うて「ほうなんよ、これが頭に浮かぶんよ。」「話、何しよ」って思うて、これ言おうかなって、お母さんにも相談しながら、今日はこれを話をしてます。ホンマに、その去年のばあちゃんのこと、なさけなくてたまらない思いをしました。



私はずっと中学校のときとか、そんなにおとなしい方ではなかったんですけども、人権学習だけは、だけはって言うたらおかしい？人権学習は、いやあんまり勉強は好きでなかったんですけども、人権学習はホンマにがんばってやってきました。ごっつい短いスカートとかはいて、チャラチャラしとったけど「お前、ほの時間になったら言うか！」という感じで見られたこともあったんやけども、ほれだけはホンマに考えないかんて自分で思ったけん、考えてきました。小6から中1～3と考えていって、やっぱり正しいことを正しいことって言うか、その差別は間違っているということを学んだから、それを知った私たちはやっぱり広げていくことが一番

大事かなって、私の中では思いました。伝えて、広げていくことが大事かなって思いました。小学校の先生を働きながらめざしているんですけども、めざそうと思ったきっかけもそれです。その理由の一つですね。人権学習をすすめる。やっぱり人権って部落差別だけじゃなくって、人を大切にする、相手を思いやるっていうのがやっぱりあると思うんですよ。それをもう根本的というか、そういう理由の一つにも、子どもにも思いやる心をもってほしいな、人を大事にしてほしいなと思いながら、まあ勉強しているところです。全然意味わからん話ですいません。

**吉成** ありがとうございます。拍手昨日ね、夜初めて打ち合わせしたんですよ。昨日の夜なんですよ。昨日の夜、9時半ぐらいから2時間ぐらい。2時間ぐらい初めて打ち合わせをしたんです。だいたいの話は聞いてたんですけども、ヘビーやね。(笑)話がね。(笑)ヘビーやけど、なりたい自分、彼女が、めざそうとしているなりたい自分と、こんな人間にはなりたくないよねという、なりたくない人間みたいなものはっきり示してくれたような気がします。それぞれを選ぶのはそれぞれの人ですけども、彼女の話聞いていて、そんな感じがしました。となりで聞いていて、多分、ミヤビさんは今、頭の中がぐちゃぐちゃで壊れかけのようですね。どうしようという、年のころは似ているけども、あと何年かしたら追いつくという関係よね。うん、4つ違いくらいかな。パッと見、見えんけどな(笑)、4つ違いと思うよ。いいのよ！いいから、あなたはあなたのことをまた、ミヤビさん、話してみたらどうかな。

**ミヤビ** あっすいません。こんな寝間着みたいな格好ですいません。去年も寝間着みたいな格好で参加しました。今、となりでいい話を聞きよって、すごいなって、いろいろ経験しとんやなって思って、思いながらも、自分何しゃべっていいか全然分からなくて。取り合えず、今

日、高校のときの先生から「今、家どこ?」「今、お前どこ?」みたいにきて「今、普通に家なんやけど」、新浜からマッハできました。(笑)タクシー使いました。ちょっと(笑)話っていうほどではないんやけどね。私、ほんな経験とかも、経験?そんなにないんよね、体験が。やけん、ここ何年かの私のしゃべりの成長を、私が知ってる方、私のことを知ってる方に見てみて



もらいたいと思うんやけども、なんもないけどね(笑)成長もなんもしてないけど、取り合えず、ちょっと、私は友達関係、仲間とかほういうことについてしゃべらしてもらいたいです。ホンマごめんなさい。こんないいゲストにまでされとんのに、ねえー。友達に?なるけど、話しよったら目茶苦茶になるんですよ。私。多分。わっどうしよう。ヤバイこれ(笑)ちょっとなんちゃって考えてないけん、えっどうしよう。マジ、ノープランみたいな感じなんやけど、頭の中。

**吉成** うん。わかってる。だいたい見えてるから脳みその中。

**ミヤビ** ですよ!笑いが起きとんですけど会場(笑)切原先生ごめんなさい。こんな、こんな前と変わらん子ですいません。(笑)えーとね。何もないというわけではないんですよ。いろいろあったんですよ、中学校、高校の頃、今もね。うわー何しゃべったらいいんだろ。んー、友達?これ中学校1年から中学生集会参加してもらいよんやけどね、鳥取の方、香川県の方、福井県の方、遠い所からすいません。ありがと

うございます。こんなド田舎、ありがとうございます。遠い所からわざわざこんな徳島まで足を運んでくれてありがとうございます。ほんでね、こう中学生集会から高校生にかけて中高生集会とか、いろんな会に参加してきたわけです



よ。いろんな会に参加させてもらいました。私は、その中でやっぱり何が大事かっていうたら、友達が大事。友達、仲間が大事やと思うんよね。実際、高校行って、中学校のときクラスの子と仲良かったんよね。ほなけどやっぱり、人権に来よった子って結構みんな話すから、メッチャ仲いいんですよ。こやって、中学生集会に来てくれとう子とか、県外からも来てくれとう子とか仲よくなって、高校生になって中高生集会っていう高校生、中学生いっぱいおる中でこういう人権の会とかをいっぱい参加させてもらいよったんよね。ほんときも、いろんな人に出会いました。たくさんの人に出会いましたね。うん。ちっちゃい子から同年代からお年寄りまで、お年寄りでもないけどオジちゃん、オバちゃんの年代まで。何もないなあ、わあーどうしよう、やばい、何もないわ、先生。

**吉成** いや、おじいちゃんの話は?

**ミヤビ** おじいちゃん?おじいちゃんの話?あっ!おじいちゃんの話!おじいちゃんの話したっけ?

**吉成** しまったよ、3年前。

**ミヤビ** うそー。んー。3年前の記憶もない

(笑) どうしよう、あかんな。

**吉成** 人権学習に取り組んでいくうちに…あの時、おじいちゃんが亡くなったのかな？

**ミヤビ** ああ。そうそう、あーあのね、私のおじいちゃん3年前か4年前くらいに、もう亡くなったんやけど、それをちょこっとだけ話します。私、中学生、中1からずっと小学校のときからこういう学習会なり、ふれあい教室なり、差別の勉強をしてきたわけであって、そのときにちょうど4年前くらいに、おじいちゃんが身体障がい者という形になって、病気で。そしたら、言葉はしゃべれんし、あんだけ元気だったじいちゃんがいきなりしゃべれんようになったし、手足も動かんし。そんなとき私、多分、当時、私はメッチャ『じいちゃんキモイ』と思ったんよね。だって言葉も、ほんとき、中学校のとき、私も、何だろ、何？、何とか期っていやらん？…思春期！思春期で親とケンカしたりとかいっばいあった頃で、ほんときにじいちゃんがそういう形になって、じいちゃんが4年前、死ぬまでに、まったく会いにいかんかったんですよ。おじいちゃん見たら怖いとしかなかかって。目も見えん、目もどこ向いとかわからんし、話も何話しよんかわからんし。手足、それこそ動けんし。もうほんま、寝たきり状態みたいだって、ほんとき、自分がじいちゃんのこと差別しよったんよね。キモイとか怖いけん会いたくないとか。あんだけ大好きだったじいちゃんをね。自分が差別しよって、おじいちゃんに死ぬ前に会ったんですよ。病院にいった。ほんときに、おじいちゃん、多分今でも記憶残つとんやけど、もう口とか、目とかが全部血だらけで、死ぬ最後で、これホンマにじいちゃんやばいと思って、中学生集会に行つとうときに亡くなったんですよ。ちょうど。ほんでほれを親から聞いて「じいちゃん死んだよ」って。ほんときにじいちゃんにもう最後、葬式のときにメッチャ謝りましたね。「じいちゃんごめんね」っていうてね。

あんどき、私がじいちゃんのこと、差別してごめんねって、そういう話したね。3年前に。そんであと時間、何分くらいいけます？



**吉成** なんぼでもいけるよ。

**ミヤビ** あっほんまに。ほれと、仲間のことちょっと話しよったんやけど、私、こう見えて友達メッチャおらんのよね。(笑) 案外不器用な子で、こうフレンドリーに見せて、ちょっとヒステリーなところもあって、あんまり友達おらんのよね。最近、仕事のことであつこういろいろ悩んどって、悩みとかいっばいあって、中学校や小学校から仲良かった子も仕事のこととかいろいろあって、離れてしまつて。つい最近、高校3年間同じクラスだったのに、高3の終わりごろにメッチャ仲よくなつて、2日にいっぺん外食とか、テスト期間中も毎日外食とか行つてきた。お泊まりもしたし、それぐらい仲良かった子だったんですよ。その子を信じとって、その子も私のことを信頼しとったし、今でも多分どうかわからんけど。私、その子をメッチャ信用しとったんよね。ほなけん、何でも言いよったんよね。自分の仕事の悩みとか、生活のことだったりとか、好きな人のことだったりとか、何でも話して。高校卒業して友達つてその子しかおらんかったんよね。高校の途中から仲良かった、高3の途中から仲良かった、その子しか毎日電話とかもせえへんかったし、他の子とかも全然正味せんかったんよね。その子にいきなり何月？6月の頭ぐらいかな、それぐらいに話があるって言われて、「ん？」みたいになつて、



「今では話せん？電話では話せんのか？」みたいな「んっんー」みたいな。「まあ、ほなわかった。ちょっとゆめタウンまでいくわ」みたいな話になって、ゆめタウンまで行ったんよね。話があるって言われて、ほんとき仕事のこととかいろいろ話したことで、その友達に「ミヤビとは、ミヤビが今おる世界じゃないけど、ミヤビが普通じゃないから」って言われて「普通になったら、もう私のところに連絡してきて、戻ってきて」みたいな。ほんとき普通ってなんなんって、メッチャ思ったんよね。多分これあんま、人権のことに関係ないけど、最近あった私の、身近なことやけん、ちょっと言わせてもらはんやけども。「ミヤビが普通に戻ったら」って言われて、「いや、私、普通じゃないん？」ってほんとき、ちょっとメッチャ考えてしもうて。「なんかこの子、上から目線よな」って、私そのとき思って。ほんとき、友達に、「ミヤビちゃん普通じゃないから、住む世界が違うから」って言われて、「住む世界が違う？普通じゃない？って何なん」と思って、普通って価値観違うよね。私と吉成先生と価値観も違うし、みな価値観違うし、それは仕方のないことやけど。けど、普通じゃないって言われたんごっついショックだつて。ほっから1ヶ月でもないかな、6月末ぐらいまでずーっと悩んどつて。高校の先生にも言ったんやけどね。友達と離れたときに、わー自分友達おらんやん、みたいになってしまったんよね。いろいろ活動していく中で、人権で関わった子らもいたんやけども、その子らも忙しいし、大学とか、就職だったりとかして、私も今ほういう連絡する時間もないし、正味言うたら友達と自分が自分のことで精一杯やから、たまーに、全外協・・・、先生なんだっつけ？あの正式名称。なんかダラダラって長ったらしかつた。長いんやけど・・・

**切原** 正式には、全国在日外国人生徒交流会

**ミヤビ** が、あるんですけど、それを2年前か

ら参加しよつて、そこで仲良かった、これダブルっいっていいかな？

**吉成** まあ、一般的にいうハーフっていう、ダブルね。



**ミヤビ** で、ここでは使わせもらうけど、そこら辺は私ようわからんから、ほれは、その人の考えとうこともあるし、今ここではハーフって言わせてもらうけど、その子がおつて、その子がたまーに、連絡先とか交換しとうけん、「どしたんミヤビ。いけるん、最近どうなん？」って昨日とかも、私まだ返事返してないんやけど、でもほうやって心配してくれる友達もおるんよね。ほんでこういう子みたら、自分って友達おらんおらん言ようけど、案外私のこと気遣ってくれてるし、心配してくれよんやなって結構思うんよね。ほれとか、今は高校の子とか、中学校の子とかとも、全く連絡ってないけん、みんなが今何しようかわからんし、他の子も私が何しようかわからんと思うけど、今の職場でありーの、先輩とかだつたり、いろんな人に出会って、今なんか生きとんやけど、いろんなことがあつたし、今、ほんまにね、ここに立たせてもらつとんよね。すいません。こんな適当なグダグダな毎日なんやけど。

**吉成** まあ、いつもやな。

**ミヤビ** いつもなん。中学校からそうなんですよ。こんなグダグダさ。多分、吉成先生とか、多分、後ろの先生方は私のこと1回は見たこと

あると思う。何も成長してないんです。けど、自分なりにちょこちょこ成長していきよんなんていうんを、みんなに言いたかったですね。すいません。なんもいいことなんか言えんから私。もともと。でも、高校のときは、私、けっこう人権活動メッチャ、今はなんかもう関わりないからあれやけど、メッチャいろいろ勉強したなと思うんですね。ほんときに、思ったが一番大切なのが仲間です。仲間、友達、そのときにおる子が多分、今後、何かあったら支えてくれるんだろなと思うくらい、普段、連絡とらんけどね。でもそれくらい友達を大切にしてほしいね。数より質って言うしね。私はそっちの方を、今自分を大事にしてくれる子とか、自分を心配してくれる子を自分も大事にせなあかんと思ってるから、そんな感じなんですよ、最近、いろいろあって大変でね。(笑)

**吉成** 成長したな。

**ミヤビ** 成長しましたね。何も話せてないけどね。私も打ち合わせしとんわからんかって、私もちょっと、その打ち合わせの時間ほしかったけど。昨日、夜9時ですよ。

**吉成** ん～、ずうーと連絡はしてた。そのわりにはね。何ていうかな、核心に迫るような話をしてくれたような気がするね。おじいちゃんとの関わりの部分であるとか、それとか、「普通って何？」というのがね。具体的じゃないんやけど、すごく大事な部分な気がするね。

**ミヤビ** 普通って何？普通って何だろうね。私は今でもほれ、すごく迷うんですよ。

**吉成** それ多分ね。中学生は、今ちょうどリアルにそこのところは悩んでいるっていうか、困っているっていうか、答えが出ん中ではないかな。



**ミヤビ** 多分、多いですね。自分の中でも「普通」って言われたときに普通ってどんな人が普通なんて、メッチャ思いましたもんね。いや、でも私は、普通に生活しているからみたいな。いや、私なりの生活をしているし、困らん。友達とかを困らすこともせんし。普通って、そんなときメッチャ悩んで。でも、ほんときに私が今関わった人がね、メッチャ、長文で書いてくれたんですよ。何かブログ的なもんで。私のことをね。私がこう悩んだときに。今は年上の人、上の子とかしか関わりないけん。もう付き合い方も変わってきたけどね。やっぱり年上の方、しっかりした方は、ほんましっかりしとんなど思いましたね。自分のためにもなるしね。仕事のこととかでも、よくいっぱい悩んでるんやけど、最近は。18って、18って、けっこうナイーブな年頃やね(笑)

**吉成** 見た目ほど18っぽくないよ

**ミヤビ** バリバリ18です！あの今年3月まで高校生でした。JKでした(笑) すいません。こんな格好でほんまに来てしもうて、申し訳ないです。

**吉成** これはこちらのスタッフの連絡不足というかね。ミスの方…

**ミヤビ** 私も聞いとったんやけど、ちょっと忘れとって、最近、自分のことで精一杯すぎて

(笑) 切原先生の5分、10分前の連絡だったらもうちょっと。こんなスッピンに近い化粧顔で来てしまったけん、ちょっとあれなんですけど。

**吉成** いい。そのほうがいい。その方がいつもらしくていい。

**ミヤビ** ですよ！こう私がこうバーンってきたらびっくりするでしょ？



**吉成** びっくりする。それは…。

**ミヤビ** さっきまでミニスカぐらいはいとったけんね。それぐらいおしゃれしとったんやけど、すいません。なんも、みんなのためにもならない話ばかりしたけど。

**吉成** いや、多分大丈夫やと思うな。中学生は何か聞き取ってくれてると思う。

**ミヤビ** 聞き取ってくれたかな？(笑) ハテナやね。

**吉成** 2人の話を聞いて思ったことは、またちょっとみなさんに振るので、感想とか意見とか言っていってほしいなと思うんだけど、お二人の話を聞いていて、共通した部分としてね、人権でつながった仲間、友達かどうかという部分。面白おかしく楽しいだけの友達、かどうか。その部分もあるんだけど、それだけじゃなくて、例えば、人権っていうキーワードでつなが

っている仲間であるのかどうか、というところは、実はもしかすると、すごく大事なのかもかもしれないなあっていう。中学生のみんなも、友達はたくさんいるかどうかはわからないし、いるんだとは思っただけけれども、はたして、どういうつながり、友達、仲間なのかっていうことを、2人の話を聞きながら感じている子もいたんじゃないのかなあという気がしました。今時計が半ぐらいやと思うんですよ。で、12時まであと半時間ぐらいしかないんですけども、この30分を使ってフロアのみなさんから2人にね、感想や意見とか、また、質問してみたいこととかを言っていってもらおうかなと。大丈夫？はい、もう準備ができています。中にはいたりするので、そんな時間にとりたいなと思っています。このあとちょっと司会の2人にマイクをお返ししますので、進行の方、よろしくお願いします。

**司会者** どうもありがとうございました！それでは残りの時間、感想や、質問、意見交換を行っていきたく思います。マイク係として、応神中学校3年のaさん、応神中学校3年のzさん、そして、応神中学校3年のcaさんの3人がフロアをまわります。記録の関係上、発表者は団体名、学年、名前を言ってから発表してください。それでは、よろしくお願いします。

#### 名和中学校 3年 k

まずみなさんの話を聞いて、今ある部落差別の現状についてわかりました。僕も、大切な家族とか学習会の友達とかが、差別とか受けたりしたら悲しいのでそれに立ち向かえる勇気と知識をこれからつけて、もっとつけていこうと思いました。また、ミヤビさんの話では、友達の大切さについてわかりました。これからはいい友達をつくって、それを大切にして、いい関係を保っていけるようにしようと思いました。終わります。

### 名和中学校 3年 l

僕は、2人の話を聞いて、なんでも話せる友達をつくっていいかなと思いました。



### 中山中学校 3年 m

ミヤビさんが普通って何だろうとかいってて、私個人としては、当たり前すぎて忘れてしまったような幸せだと思います。理由は、私もミナさんみたいに親が離婚してるんですけども、そんなとき一緒に暮らしていた兄とかが、家に引きこもっていたような状態だったから、何かそんな、たまに話すときはなんか嫌だなあという感じだったんですけども、いざ離れてみると、やっぱりちょっと寂しいなとか思って、ときどき会いに行ってるから、やっぱり当たり前だと思ってる時が、すごく幸せなんだなって思うのが私の普通です。

### 藍住中学校 3年 d

ミヤビさんの話で普通って話が出てきたんですけども、私はよく普通じゃないって言われるんですよ。なんか人と考え方が違うんかとか思うんですけども、私は、難しく考えることが嫌いなので、私の普通は、人間生きとったら普通かなって思います。考え方も違うし、価値観も違うし、人間の共通っていったら生きとることかなと思います。

### 吉野中学校 3年 n

ミヤビさんの普通についての話について、私も2年生のときと今年に、人権作文で自分の考

える普通ということの基準についてというのを作文で書かせて頂いて、2年生のときは、ここで発表させて頂いたんですが、やっぱり、何回「普通って何なんだ」って考えても、自分の頭から出てくる答えは、普通じゃないっていうことそれ自体が普通だと思うんです。何か誰かから普通じゃないなあって言われることも何度か



あるんですが、それを言ったらここにいる全員が何らかの形で他と違うものをもってっているというのは、絶対あると思うんです。だから、普通じゃない誰かと周りにおる人と何かが違う、それ自体が普通なんだって、私は思います。はい、以上です。ありがとうございます。

**吉成** はい、ありがとうございます。せっかくの機会なんでね、どんどん発言していってくれたらと思います。

### 応神中学校 3年 o

2人の話を聞いて、まず、ミナさんの話聞いて、仲間がいる人ってやっぱり強いなと思いました。あと、今も残っている差別もなんていうんだろ、こう、つらさ？つらさやなんて言ったらいいんだろ、こう、痛み？心の痛みが伝わってきました。あと、ミヤビさんのお話を聞いて、僕もちょっと普通って何だろうって改めて思いました。もっと早い時期にお話を聞きたかったです。ありがとうございます。

**吉成** ありがとうございます。他にはどうでしょう。うん。ミヤビいきますか？

**ミヤビ** あっすいません。なんか私の話でメッチャけっこう盛り上がってくれて、ムッチャ嬉しいんですけども。私もね、まだ、普通って自分でもよく分からないんです。何が普通なんかって私もわからんけん、こうやって未だにいろんな人と話をして、聞いて、学んでってしよんやけど、普通って私の思う普通は仕事して、寝て、起きてみたいな普通、当たり前の生活なんよね。けど、まあやっぱ、その中にもね、仕事って言ってもいろんなことあるし、何かしらいろんなことがあるけんね。だけん、ほの人の価値観やけん、普通っていうんは何だろ？決めつけなんよね。自分が普通、これが普通なんじやと思えば、普通なんよね。だけん、もっと早く出会いたかったなあ。歳違いうわ（笑）いつでも話聞いたげるけん！聞きに来てな！（笑）教えてあげれんけどな（笑）



**吉成** どうですか？フロアのみなさん。すごく話しやすい雰囲気をつくってくれてほんま、ええキャラやね。ほうよね。変われへんよね。

**ミヤビ** 堅い話できんけん。

### 応神町学校 3年 p

ミヤビさんの話を聞いて、ひいばあちゃんのことを思い出して。今年の3月に、さっき友達に聞いて、いつ死んだか思い出したんですけども、それすらもわっせとって。でも、ひいばあちゃんのことを思い出して。死んだんですよ。3月に。なんか、死ぬ前、家に母さんの実家の方におって、なかなか遠いけん会いに行けんし、

会いに行っても私と私の妹との区別ついてなくて、ばあちゃんは。名前なんか母さんの名前を私に向かって呼んだりして、ちょっとボケてたんですよ。ほれで、なんか、話の相手をするんもめんどくさいし、なんかもう行くん嫌やなとか思って、お葬式のときもなんか泣いたんは泣いたんですけど、何も考えてなくて。てか、何も思ってなくて。死んでもなんか周りに流されて泣いたみたいな感じで。なんかこう、ばあちゃんが死んだのに、何も思っていない自分ってなんか、なんなんだろうとか思って。やけど、母さんの実家に、またってか、行ったときにひいばあちゃんがいつもおって、「なんか飲むで」とか言ってくれよったんやけど、行っても誰もおらんかって、誰も。ひいばあちゃんに改めて気付いて。ひいばあちゃんがおらんに改めて気付いて。なんか寂しいなあとか思って。もっと生きとったときに会いに行ったりしたらよかったなと思って。ずっと誰にも言えんかって。それでミヤビさんの話を聞いて、なんかオープンに話して、救われた感じになりました。ありがとうございました。



**吉成** はあー、泣くなあ。

**ミヤビ** 私も、ありがとう、メッチャ感動した。ありがとうな。つらいのにな。こうやって人前でしゃべることって勇気いることやけん。メッチャ、オープンに今はこうやって言えることやけど。普通に。私もそんなときはつらかったんよ。確かに改めて、私、今、私の中にじいちゃん、2、3人おるんやけど、まあ事情があって

(笑)。私、2人とももうじいちゃんは死んどんよね。けど、もうひとりのじいちゃん。私、親が再婚やから、前のお父さんのじいちゃんおるし、今のお父さんのじいちゃんもおるし、両方死んどうけどね、前のお父さんのおじいちゃん



んがごっつい大好きやって、ほんまに、ずっと私のことを可愛がってくれて、前のお父さんと離婚してからもね、兄弟は離されたんやけどね。上のふたりは前のお父さんが引き取って、私は今のお父さんに引き取られとうけんね。ほなけん、ちょっと形式上いろんなじいちゃんおるんやけども、けど、前のおじいちゃんすっごい好きで。いつも行ったら朝に食パン5枚焼いてくれたり。正月だったら、餅10個くらい焼いてくれるじいちゃんだって、ほれぐらい大好きなじいちゃんだって、ほんで死んだんよね。2年前に。病院にも会いに行きよったんやけど。やっぱ、私ってこともわかってないし、でも最後に会ったときに私の名前を呼んでくれて、メッチャうれしかって。けど最後、おじいちゃん死んだときは、見届けてあげれなかったんやけど、学校とかもあつたしね。けど今、おじいちゃん死んだ実感がなくて、まだ1回も仏壇に..

**吉成** 手を合わせる？

**ミヤビ** そうそう、手を合わせてないんですよ。手を合わせた時点で、じいちゃん死んどうっていう実感があるけん。けど死んどうけんおらんのは自分でもわかつとうし、いつかは手を合わせて、「じいちゃん」って言いたいんやけ

どね。私も未だに前のお父さんのじいちゃんはほんまに死んだって実感わかなくて、今もわいてないね。帰ったら私が行ったらおじいちゃんが「ミヤビ〜」って言うてるのを待とうけん。今お姉ちゃんと住んどうけん、何もないけどね。やっぱりなかなか、じいちゃんとかね、ばあちゃんとかって、死んだ人ってなかなか実感わかんけん。手合わせれんと思うんよね。手合わせなあかんと思うけど、今は、いつかは私も受け止めなあかん時期があると思う(笑)お墓も手を合わせてないんですよ。お墓参りも1回も行っていないけんね。死んだっていうんはいややけん。

**吉成** ほなけど、その話を聞いてて、すごい反省させられるね。すごく反省する。自分がじゃあ、祖父母、父母ときちっと向き合えてるかっていうか大切にしているかっていうことを、突き詰めて問われている気がしてな。そういうやりとりを聞いてると、すごくなんか反省させられるな。誰かに怒られているわけでもなんでもないんだけど、なんかね。なんか、ダメだなというかな、もうちょっとがんばらにやみたいな、そんな気がするな。どうでしょうか。これお昼から人権作文の発表会にも内容的にはつながっていくとは思いますが、思います、今、感想とか、意見とか、質問とかあればお話頂けるとありがたいんですけども。どうでしょう。

**中山中学校 3年 m**

さっき、ミヤビさんの話を聞いて、私もなんか今、無駄に元気なおじいちゃんがいるんですけども、つい昨日、高校野球を見に行くと言って、3、4日ほど帰ってきてなくて、つい昨日、帰ってきたみたいなおばあちゃんから連絡を受けて、なんか変なおじいちゃんなんですけど、やっぱり、いつも通り、元気だなって思うけど、その分ずっといるようで、ずっといるような感じがするから、死んだらすっごく実感わかない

し、同じような立場になるんかなって思います。



ミヤビ 暗い話はせんでいいよね。

吉成 別に暗い話をするためにみなさん集まったわけではないんで、お通夜でもなんでもないですから（笑）差別をなくしていくための会ですから、元気じゃないと。私たちが。辛気臭くしとってもしかたないんでね。普通ってという言葉がずっと出てるんだけど、よく私は人に、変だって言われるたびに嬉しくなるんですよ。

（笑）それはね、なぜかって言うと、普通じゃないとかね、変だって言われるっていうことは、逆にいえば、「あなたは、個性的ですよ」っていうことですよ。これは人権文化の中で言えば褒め言葉ですよ。あなたが個性的だっていうのはね。だから、褒められているっていうふうにもいつも思うんです。その一方で、ミナさんの話がありましたけども、人権を大切にしない、命を大切にしないっていう現実、事実、差別、そういうんがあるっていうこともはっきり見えてきたわけなんですけども。みなさん、そこらへんのことについてどう聞いておりましたか？ ちょっとお話を聞かせてもらえたらと思うんだけども。中学生にはちょっとショッキングな話がたくさんあったかもしれないなあ。けど現実としてね、どんな感想をもったかなあとか、お話を聞かせてもらえたらなと思います。大人でもいいですよ。はい、いいです。

藍住中学校 教員 q

ミナさん、板野中学校出身ということで、私も実は板野中学校出身です。私が働き始めたと

き、ちょうど吉成先生がいて、学習会専任指導員として学習会の子どもたちを教えていました。そのとき、私は部落の出身の子どもたちについて、やっぱり勉強不足で、私自身がおじいちゃんもおばあちゃんも、部落の子と遊んではいけないというふうに、小さいころから言われていたので、少なからずやっぱり差別する心っていうのが自分の中にありました。やっぱり勉強する中でそれはおかしいんだということに気付けたのが、遅いですね、私の場合だったら。でも、それに気付けなかったら、多分、ミナさんの伯父さんであったり伯母さんであったり同じようなことをしていたのではなかろうかと、すごくそのとき思いました。こういうふうな中学生集会も初めのころ、すこし参加させてもらってたんですけど、こういう交流会がないとそれに気付けなかったりとか、私自身も人権を語り合う会とかで成長していけるなと思ってます。まだまだ勉強不足なんですけども、やっぱり子どもたちにもいろいろな差別について考えてもらいたいし、自分自身もまだまだ勉強しなくてはいけないことがたくさんあるので、いっぱい語ってほしいなと思っています。

吉成 またまだ成長やって。

ミヤビ ほんまにもうねー。

ミナ すいませんね。ショッキングな話をしてしまって。ミヤビさんを見ていて、何年か前だったらこんな感じだったのになと思いがら歳をとっている23歳です。今、自分が小学校の先生をめざしようというのもあって、すごい型にはまってしまったなと、今反省しながら、ミヤビさんをうらやましいなと思いがら、ホンマに何年か前だったら、こんな感じで、大学生の3月くらいまでは、こんな感じやったんですけどね（笑）ちょっとうらやましい、ちょっとこのノリええなと思っています。今、こやって前でみなさんの方を向いてるんですけども、自

分がさらけだすとんよね。はっきり言うて、こんなもう家のことで、私のどこに住んでるかも知っている方もいるので恥ずかしい話やけども、ここで私がどうして涙流しながら言えるのかという、みなさんが真剣に聞いてくださってるなというのが前に伝わってきます。人権のことについて考えようって、徳島県じゃなくて、他の県からも来て下さっている、座ってくださっているっていうことについて、やっぱりここに座って強く思います。こんだけの人が少なからず人権のことについて考えようと思って足を運んでくださっているわけやから、すごいほれについてうれしい？うれしいよね。ほんまにうれしいよね。なんだろ、ほんまに、今すぐはわからんかもしれんけど、絶対、大きいなったり、成人式はまだなんやね。成人式もまだなんやね！成人式とかになったときに、ほんまに仲間とか、多分、感じてくると思います。これからやと思います。今も大事な仲間たちといます。楽しいと…制服がうらやましいです。楽しいと思うし、ほなけど、まあ、ほんなに…な。うらやましいセーラー服！もうリボン付けたいわ！ほんまに（笑）もうちょっと、ハタチ超えたらあかんなあーって、横で思いながら思っています。また、ちょっとパワーをもらいます。今日は（笑）



**吉成** ほら、嫌な大人って意味わかるかな？嫌な大人、くだらない大人って意味わかる？なりたくない大人ってわかる？こんな大人にはなりたくないなとか、そういう感じ。そこは、大事にもっててもいいんじゃないかなっていう。大人になっていくんだけど、大人になってい

くたびに、嫌な大人になっちゃってる自分が嫌だみたいな。あの頃のままみたいなの、ずっといられたらなあみたいな。

**ミナ** あの頃のまま変わってないんですよね。多分、頭の中は友達と話しようときとか、先生に相談するときとかって、ほんなに小中高のときと変わらずやと思います。

**吉成** 大事なことのような気がするのよね、それって。中学生もなんていうかな、親しみのもてる先生、大人とかいることない？この先生は親しみがもてるなあとか、こういう大人は親しみがもてるなあとかって人いることない？だいたい似てると思うのよ。共通点があるっていうか、そういうことない？思い当たることある人いない？マイクまわしたげて。そしたらミヤビさんが最後まとめて終わってくれるから。

#### 中山中学校 3年 m

たまに、先生によっては自分を優先する先生とすごく生徒の気持ちをわかってくれる先生がいるんですけども、やっぱり生徒を優先して話してくれる先生がいるっていうとすごく話していると楽しいし、たまに失礼はするけどフレンドリーになっちゃう先生もいるっていうのがいいかなと思います。

**吉成** フレンドリー過ぎるとね、大変なんですよ。ミヤビさんどうですか。

**ミヤビ** 多分、後ろでメッチャ爆笑しよう先生おるんやけど、高校のときお世話になった先生。ねっ切原先生！今こうなりました。すいません、多分、先生、またこいつ、いらんこと言ようわぐらいしか思っていないと思うけど。けど、私もいろんな会場におる先生、おっなんかこの先生何回か見たことあるっていう先生いっぱいおるんやけどね。ほの先生がずっとここ来てくれるっていうんはうれしいことやし、ほんとにも



ういろんな先生とも、長い先生で6年ぐらい、吉成先生、6年ぐらいになるよね？

**吉成** 6年超えたな。

**ミヤビ** 中学校から6年くらいになる。こうやって先生とか、大人でもいいんやけど、つながりって大事と思うんよね。私は、その中でいろいろ変わったことがいっぱいあったし、今この間、高校に先生に会いに行行って「先生、話聞いて！」ってたまに連絡でも「ちょっと、ほんまもうムリ」とか言って「ほんま、ミヤビ、耐えれん！」ってメッチャ言よったりしよったんやけど、ほやって言える先生がおったら楽になるよね。心も。自分がなんかつらいときとか、話聞いてほしい。でも友達に言えんと思う。先生にも言えんかもしれんけどね。けど、ほういうときって、誰か仲ええ先生とか、信頼しとる先生とか、多分何でも言えると思うんよね。ほれが私は切原先生だったりするし、自分が言えんことをってストレスが溜まってくるんよね。中学校の子とか思春期やけん、みなほうと思う。私も親と何回もケンカしたし、高校になっても何回もケンカしたし、そういうとき何かに親のことじゃなくて、私生活でも人権のことでもいいし、そのときに人とのつながりってほんまに大事と思うんよね。今、この人とつながって良かったって改めて思ったときってメッチャある。私もね。先生とか、もうほんまに友達とか救われたことあったしね。自分がこんな性格やけん、みんなついてきてくれるかメッチャ心配とかもあったんよね。この会、成功できるかって自分が委員長っていうかな、あつ、実行委員長！実行委員長、ほうやね、ほういう自分にあたったときにほんまにこの会進めれるか、これはいけるんかってメッチャみんなであせって、けど、そんなときに、みんながいっぱい考えてくれて。これ、みんなの時間とるな？あつやばい、もうお昼の時間とったら困るけん、後半戦にまた、休憩時間に私おるから何か聞きたいことあ

れば聞いてください。

**吉成** はい、ありがとう。私ここにいる意味なかったんでないんかなって気がするんですが…。みなさんね、お昼から人権作文を4本聞いてもらったうえで、討議をしてもらうことになります。お二人が話をしてくれましたけども、つながりましょ！お昼から、ね。そんなことを提議してくれたと思うので、発言の中でしっかりね、つながりをつくっていきましょ。それが多分、みなさんの力になっていくんじゃないかなと思います。お昼から人権作文の発表をしてくれる4人のみなさん、がんばりましょね。期待しますのでしっかり発表してみてください。それでは、司会のふたりにマイクをお返ししたいと思います。



**司会者** まだまだ発表はあると思いますが、このあたりで全体会午前の部を終了させていただきたいと思います。最後に、もう一度拍手をお願いします！さて、このあと、昼食・休憩となります。お弁当を注文された団体は、お弁当の引換を行いますので、代表の方は1階の受付へお越しください。なお、基本的にお弁当は、この場所で食べてください。また、まだ名札をつけていない方は、名前がわからないので、このあと全体会場の後ろの席でつくり、必ずつけておいてください。それではお互いに交流しながら食事をし、お昼のひとときをお過ごしください。なお、午後の部の開始時刻は13時です。遅れないように、元の場所に集合してください。よろしくをお願いします。それでは、いったん解散してください。